社説

政府の前途

今回の政變は政府の基礎に如何なる影響を與へたるか當路者の深く察す可き所なり內閣の維持に第一必要なるは部內の統一にして假令ひ人物が朝に滿つるも其方向定まらざれば船頭多くして船を山に登らしむるの憂を免る可らず今の政府に今日まで見る可きの成績なかりしは名案なきが爲めに非ずして寧ろ統一を欠きしが故のみ左れば今回の更迭に二流三流の人物を容れたる其人物は兎も角も政府の統一上には自から便利なる可しとして扨對議會の一段に至りて進步黨との提携を絕ちたるは前途に少なからざる困難を招きたるものと云はざるを得ず去る者は追はず來る者は拒まず政府は政府の所信を行はんのみと云ふも實際議會に多數を制するに非ざれば何事も爲す可らず當局者は如何にして此議會を切拔けんと欲するの覺悟なるか聞く所に據れば進步黨の代議士は凡そ八十六名　自由黨七十九名、國民協會廿名にして進步黨の別働隊とも云ふ可きもの十名もあるよし都合百九十餘名は先づ反對と見る可きものにして公同會の四十名內外と無所屬六十名許りは疑く政府に賛成する者として味方は僅に百名に過ぎず或は曾て自由黨を分裂せしめたる筆法を用ふれば尙は同黨の內より多少の賛成者を得べく進步黨の中にも亦志を翻へす者なきに非ざる可し又國民協會の或る部分は政府に賛成との說あれども兎に角に此僅にて過半數を制するは覺束なしと云はざる可らず議員去就の豫想は凡そ右の如しとして先づ以て反對多數と認む可き其處に政府は既に增稅の議を決して提出の覺悟なりと云ふ恰も民黨積年來の禁句に觸るゝものにして議場の反對論は必ず凄まじきとならん對議會の方面に於ける政府の困難は斯る次第にして然かも其困難は既に目前に迫りつゝあるものとなれば政府に於ては自から之に處するの覺悟あるとならん巧に議會を操縱して無事に難場を切拔けんか大に民論と鬪ふて運命を決せんか其邊の覺悟は自から當局者の方寸に存するとして我輩の政府に望む所は今回の政變に處したる果斷の筆法を其儘一貫して此際大に目覺ましき改革を斷行し以て天下の耳目を新にするに在り先づ差當り部內の老朽者を淘汰して新人物を登用し施政上萬般の敏活を謀るは勿論、臺灣の改革の如き我輩の每度勸告したる如く有爲の人物をして局に當らしめ速に實を擧げしむ可し又いよ〱增稅案提出の覺悟ならんには同時に從來苛細の稅法を改廢して人民をして無益の勞費を免かれしむる中にも兼て政府の持論なる監獄費國庫支辨の如き此際決行を期す可きものなり其他運輸交通事業の不始末の如き世間の苦情聞くに堪へず片時も捨置く可きに非ざれば直に其不始末を始末して一般の不便を除くと共に更らに改良擴張に着手する等、片端より颯々と改革の實を行ふて天下の耳目を一新す可し對議會の困難は即ち困難ならんと雖も苟も政府の局に當りて責任を全うせんとするには困難は覺悟の前として斷じて進まざる可らず我輩は單に對議會の爲めのみならず當局の責任として此際の大決斷を勸告するものなり

電報

（時事新報特受ロイテル電報）

○印度證券停賣延期

倫敦十一月十一日發

印度證券の發賣は尙ほ向ふ四週間以上停止さるゝ事となれり

○英國と阿非利加

同上

英國總理大臣ソールズベリー侯は市公館に於て演說して曰く阿非利加に於ける英人從來の權利を枉げざるため佛蘭西、獨逸、葡萄牙、伊太利等の諸國との間に不斷商議を催し居れり而して其商議は活潑なれども又常に圓滑なり政府は此問題につきて帝國の隆盛と利益の爲めに嚴正なる正義を主張すると共に隣國の感情と要求に對し至當の考慮を加へん事を望む左れども予は其加ふべき考慮にも際限あり決して英國の明白なる權利を蹂躪せしむる能はずと

○英國軍人の武勇

同上

印度境界地に於てアダムス大佐及びフィンカッスル、コステッローの兩中尉は偵察の任務に當り武勇拔群なりしとの故を以てウェストマコット將軍之にヴィクトリア十字勳章授與の儀を奏請せり右のウェストマコット將軍の軍隊は退却の途に於て敵兵の攻擊を受けたるものにて之が爲めノーサンプトンシャー聯隊のワッデル中尉マッキンタイア中尉及び兵卒十六人之に死しトレント中尉兵卒三十人負傷せり又ドーセットシャー聯隊に於てもイングバム中尉、マーサー中尉兵卒六人負傷しシークス隊にも八人の死傷ありたり

○昨日前場の大阪株式（形勢不穩）

大阪十一月十二日午前特發

引續き不氣配の場面にて諸株又々新安値に落し人心恟々として形勢穩かならず

○扶桑艦修繕後報

松山十一月十一日午後特發

昨今兩日間扶桑艦へポンプを仕掛け排水を試みたれども其効なし

○西成鐵道買收の否決

大阪十一月十二日午後特發

西成鐵道買上の件は曩に松方總理、野村遞信兩大臣の是認する所となり今期の議會に買收案提出の筈なりしも工事未成に先ち買收するの必要なしとの議、參謀本部に起り結局買收せざる事に決定せりとの說あり

○青森の出火

青森十一月十一日午後特發

本日午後四時市內大町より出火、米町博勞町等へ延燒し唯今（午後六時二十五分）鎭火せり燒失家屋は凡そ百餘戶位ならん

○敷地買上の結了

松本十一月十二日午前特發

當地に新設すべき十五聯隊兵營敷地の買上は昨日を以て結了せり

○山縣大將

馬關十一月十一日午後特發

昨夜山縣大將來關し唯今（午後二時）博多へ向け出發せり

○石坂陸軍醫務局長

名古屋十一月十二日午後特發

石坂陸軍醫務局長は本日より各隊の檢閱を爲す

○奧近衞師團長

栃木十一月十二日午後特發

奧近衞師團長當地に來る

○山田福井縣書記官

福井十一月十一日午後特發

山田本縣書記官は水產博覽會褒賞授與式へ參列の爲め本日神戶へ向け出發す

○高野孟矩氏の一行

佐賀十一月十二日午前特發

高野孟矩氏の一行は本日當地を出發し太宰府を經て博多に向ふ

○愛媛縣會

松山十一月十二日午前特發

來る二十六日より通常縣會を開く

○北越鐵道の爆裂彈公報

北越鐵道會社の爆裂彈事件は昨日の本紙電報欄に記したるが新潟縣知事より昨日內務省へ達したる公報は左の如し

●其一●　午前三時二十分北越鐵道會社沼垂停車場機關車倉庫內に何者か忍入り爆裂藥を設け機關車一臺及び倉庫を破壞したり其他二ヶ所にも響音あり只今出張取調中（十日午前七時十五分發）

●其二●　停車場の模樣は機關車を入れ置きたる建物の土臺を掘り之より忍び入り爆發物を裝置したるものにて該建物及び機關車一臺大破損せり又鐵橋と物置庫にも裝置し各其一部を破損したり人畜には死傷なし其損害高約一萬圓以上（十一日午後七時三十五分發）

○次官と總長

菊池大麓氏の文部次官に任ぜられ外山正一氏の東京帝國大學總長に任ぜらるゝみとは前號に報じたるが如く既に決定し居るよしなるも其發表は知事の交迭と同時に於てするならんといふ

○叙任

兼任內務書記官（敍高等官七等）　內務事務官　堀　信次
任東京府南多摩郡長（敍高等官六等）　秋田縣山本郡長　木村　顧藏
任秋田縣山本郡長（敍高等官八等）　秋田縣雄勝郡長　遠藤　政敬
任秋田縣雄勝郡長（敍高等官八等）　秋田縣仙北郡書記　岡　[illegible]
依願免本官（以上十一月十二日）　東京府南多摩郡長　原　[illegible]

○知事の變動

京都府知事の後任を初め數知事の交迭に就きては內務大臣より各大臣の同意調印を求めつゝありしよしなるが右は昨日中に松方總理大臣より裁可を奏請し今十三日中に任命せらるゝ都合にて官報の上に現はるゝは今土曜日か若くは來る月曜日の紙上ならんとなり其新任知事の姓名を聞くに左の如し

任京都府知事　大阪府知事　內海　忠勝
任大阪府知事　愛知縣知事　時任　爲基
任愛知縣知事　栃木縣知事　江木　千之
任栃木縣知事　內務書記官　千頭　淸臣
任福井縣知事　神奈川縣書記官　荒川義太郎
任愛媛縣知事　青森縣知事　牧　朴眞
任青森縣知事　河野主一郎
任鳥取縣知事　廣嶋縣書記官　調　新吾

同時に鳥取縣知事深野一三氏は北海道廳內務部長に任ぜられ愛媛縣知事室孝次郎、福井縣知事波多野傳三郎の兩氏は願に依りて本官を免ぜられ神奈川、廣嶋兩縣書記官の後任も夫れ〱任命ある筈なりと

○昨日の總理邸

野村遞信、西外務の二大臣は昨日午前九時過ぎ松方總理を官邸に訪問して數刻對談の上正午頃退出したるよし

○西鄉海軍大臣の午餐會

西鄉海軍大臣は昨日正午目黑の別莊に於て午餐會を催したる由にて來賓

は英國代理公
の伊藤海軍次
○水產博覽
褒賞授與式は
農商務次官總
裁官殿下には
式
彰仁恭しく
するに在り
を開き一た
を奬勵せら
達の効益々
褒賞授與の
名譽の選廿
精良なる實
水產の事業
きを徽すべ
し產を殖し
す所に外な
や彰仁親し
荷ふ玆に授
明治三十
第二回
勅
第二回水產
つ多なる發
く嘉みする
今玆に褒賞
敢て怠るゐ
○貨
市
發に英國政府
造を開始せん
其非を說くも
再開を以て退
印度爲に大に
如き手段を取
ル電報にも見
して議會及
其結果變更を
あるにあらざ
（第二）如何な
磅貨に對する
直接間接共に
價格に何等か
政府決して同
は世界に於け
に內部又は外
に一旦之を棄
於ては即ち是
度の造幣局は
ては我輩敢て
も一旦閉鎖し
て執るべき手
なる注意を之
て我輩は初め
く鄭重なる討
さるゝと云ふ
步的手段を取
四ヶ條を具へ
と云ふ